

DATA FILE



名前	CALCITE (カルサイト) / 方解石
化学組成	CaCO_3
色	無色、白色、灰色、青色、ピンク色、黄色など
光沢	ガラス光沢、真珠光沢
蛍光	青色、ピンク色、赤色、黄色など
条痕	白色
劈開	完全
断口	貝殻状
硬度	3
比重	2.7

方解石 CALCITE

ホ

英名の「カルサイト」は、ギリシャ語で「石灰石」を意味する言葉を語源としている。和名は、極めて完全な劈開があることに由来する。

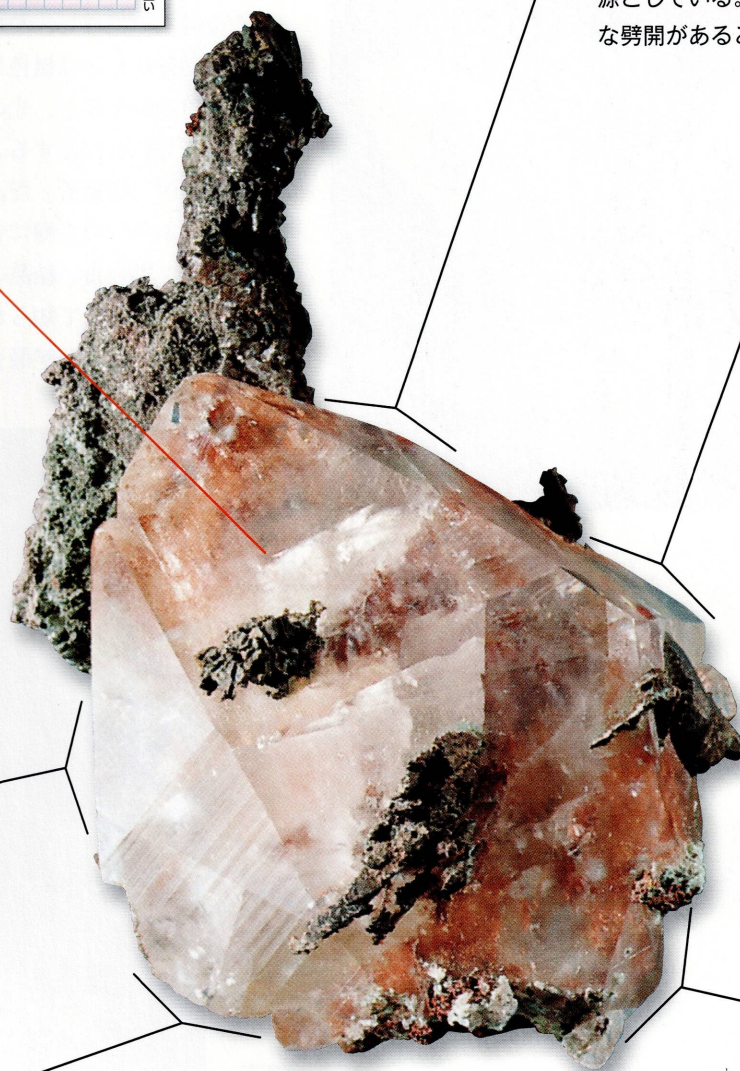
アメリカのミシガン州で産出した、ピンク色の方解石。包有物として自然銅をともなう。

ハンマーでたたくとマッチ箱を押しつぶしたような形に割れ、貝殻状の断口があらわれる。

石英、苦灰石、霏石、珪灰石、黄鉄鉱、重晶石など、さまざまな鉱物と共生する。

素焼きの陶板にこすりつけると白色の条痕が残る。

紫外線ランプを照射すると、青色、ピンク色、赤色、黄色などの蛍光を示すものがある。



石灰岩や大理石を構成

最も一般的に産出する鉱物のひとつである方解石は、石灰岩や大理石の大部分を構成し、生石灰（酸化カルシウム）やセメントの原料になる。鍾乳洞の中で見られる「鍾乳石」や「石筍」も方解石を主成分としてできたもので、そのほかに、金属鉱床の脈石としても豊富に産出する。また、イタリアで産出するクリーム色の方解石の集塊は「カララ大理石」と呼ばれ、彫刻や墓石に利用されている。

ホ

方解石



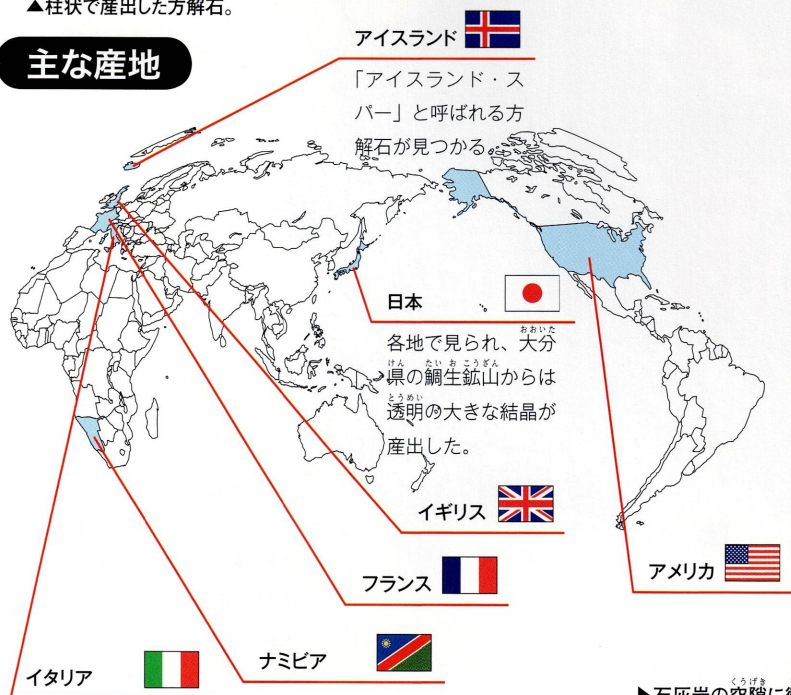
ふたつの光線に分かれる「複屈折」

方解石の結晶は、テーブル状や柱状のほか、針状、犬牙状、大きな塊状で生成し、希塩酸をかけると激しく泡を出して溶ける。純粋なものは無色だが、含有する副成分によってさまざまな色合いを示し、光の内部反射によって結晶表面が虹色に見えるものも存在する。方解石が持つ特徴のなかで最も有名なものが「複屈折」だ。これは、方解石の中を光が通過するとき、ふたつの光線に分かれて異なる方向に光を放つ性質のことで、質の良い結晶の劈開面を通すと、文字や線が二重に見える現象として知られる。複屈折は水晶などの鉱物でも見られるが、方解石が最も顕著であるため、確認しやすい。



▲柱状で産出した方解石。

主な産地



▶石灰岩の空隙に微小な針状結晶であらわれた方解石。